

- 問1 宮崎県の農業統計において、2020年の品目別生産量で全国1位となっている作物はどれですか。この作物は宮崎平野を中心に盛んに栽培されています。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. ねぎ 2. さつまいも 3. きゅうり 4. てんさい
- 問2 北九州工業地域の工業出荷額を産業別に見た際、機械工業や金属工業とともに主要な割合を占める産業があります。この産業の工場が、福岡県北九州周辺の沿岸部に集中して分布している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利なため 2. 製品の鮮度を保つ必要があり、消費地である都市部に隣接しているため 3. 原料となる農産物を、近隣の平野部から短時間で集荷できるため 4. 内陸部と比較して地価が高く、企業としてのブランドイメージが高まるため
- 問3 農産物の生産統計において、サトウキビの生産量や、マンゴー、菊（電照菊）の出荷量が全国トップクラスである都道府県はどこか、名称を答えなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 沖縄県 2. 高知県 3. 宮崎県 4. 鹿児島県
- 問4 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。 2. 高度経済成長が終わりを迎え、これまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。 3. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため 4. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。
- 問5 日本の諸地域に関する統計において、人口が約1400万人を超え、農業生産額が約1.9兆円に達し、年間商品販売額も中国・四国地方を上回る規模を持つ地方はどこですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 中国・四国地方 2. 近畿地方 3. 九州地方 4. 東北地方
- 問6 九州南東部の宮崎県において、冬でも雪がほとんど降らない温暖な気候を活かし、他の地域よりも野菜の成長を早めて出荷時期をずらすことで、高い利益を得るために行われている栽培方法を何というか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 近郊農業 2. 有機農業 3. 抑制栽培 4. 促成栽培
- 問7 ある県の農業データとして、年平均降水量が2007.0mm、農業産出額が3512億円であり、そのうち果実の産出額が362億円、野菜の産出額が1248億円と、野菜の占める割合が非常に高くなっています。この県として該当するものを選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 高知県 2. 熊本県 3. 愛媛県 4. 長野県
- 問8 九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県 2. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県 3. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県 4. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県
- 問9 鹿児島県は、全国有数の農業産出額を誇る一方で、その内訳を見ると米の生産割合が非常に低く、畑作や畜産が中心となっています。このような農業の特色が形成された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。 2. 冬の気温が氷点下になる時期が長く、稲の成長が妨げられる冷害の影響を避けるために畜産へと転換したから 3. 大規模な干拓事業によって得られた平坦な土地が塩分を含んでいたため、米の栽培を避けて野菜栽培を優先したから。 4. 山間部が多く耕地面積が限られているため、米の生産をあきらめて付加価値の高い果樹栽培に特化したから。
- 問10 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 福岡県 2. 大分県 3. 宮崎県 4. 鹿児島県
- 問11 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 長崎県 3. 宮崎県 4. 熊本県
- 問12 鹿児島県の養豚業における統計的な特徴について説明します。1964年には約5万戸あった飼育戸数が、2014年には約1千戸まで激減している一方で、県全体の総飼育頭数は約100万頭から140万頭の間で維持、あるいは微増しています。このデータから読み取れる、現在の鹿児島県の養豚業の状況として正しいものを選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 小規模な農家が多数残っており、伝統的な飼育方法が守られている状況。 2. 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。 3. 飼育戸数と総飼育頭数の両方が減少したことで、豚肉の希少価値が向上している状況 4. 養豚農家の減少に伴い、県全体の豚肉生産能力が著しく衰退している状況。
- 問13 近年、持続可能な発展を目的として注目されている「エコツーリズム」の基本的な考え方や取り組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 交通網の整備や大規模な宿泊施設の建設を優先し、短期間にできるだけ多くの観光客を呼び込んで経済効果を高める。 2. 地域の生態系や自然環境を保全し、その価値を損なわない範囲で体験や学習の場を提供することで、環境保護と観光を両立させる。 3. 自然環境を完全に手つかずの状態に残すために、観光客の立ち入りを厳格に制限し、学術調査以外の目的での利用を禁止する。 4. 農村や山村に滞在して農業体験や地元の人々との交流を楽しむことで、過疎化が進む地域の活性化を目指す。